



抱負を語る吉野さん（28歳 成東）

一人でも多くの笑顔が見たい

吉野 洋さん 青年海外協力隊でウガンダへ

青年海外協力隊、平成19年度4次隊の隊員として、3月26日にウガンダへ出発した吉野洋さんが3月19日、市長を表敬訪問しました。

青年海外協力隊は、開発途上国や東欧諸国へそれぞれの技術・技能を活かして国づくり人づくりに協力。現在は、76か国2,466人の隊員が、任国で活動しています。吉野さんは、臨床工学技師として病院に勤務していた経験を活かし、医療インフラ整備・維持管理の強化、医療機器使用者への教育、技術者育成などを行います。「30歳までには海外で仕事をしたいと考えていた時、この協力隊に参加できることを知りました。貴重な2年間となります、後悔したくない」と強い意欲を見せていました。言語、生活習慣、気候が異なる厳しい環境での、吉野さんの活躍が期待されます。

白象に乗ったお釈迦様

光明寺「花祭り」

花火の合図とともに、お釈迦様の生誕を祝う行事、「花祭り」が4月8日、富田の光明寺(天台宗)で行われました。

この花祭りは、無病息災を願う民間信仰的な要素を含みながら人々に徐々に浸透していきました。

生誕の様子を再現するように花で飾られた小さなお堂(花御堂)の中に、右手を上、左手を下に指差した小さなお釈迦様の像を安置しています。生誕時に洗い清めたとされる甘茶を、仏様に灌ぐことから花祭りを灌仏会ともいい、参拝者には甘酒が振舞われます。

光明寺の住職、村上静勝さんは「白象に乗った像を引くこの花祭りを、子どもたちのお祭りとしてぜひ浸透させていきたい」と話しています。



あいにくの雨に見舞われ本堂内での開催となった今年の花祭り

頬をなでる春風を感じながら

ラジオ体操の会

毎週日曜日の朝6時30分から、さんぶの森公園で行っているラジオ体操の会。市のヘルスサポーター育成研修を受講した皆さんが、4年前から自主的に始め、現在は会員数が30人になりました。

日ごとに暖かくなり、草木が芽吹き花のつぼみが開いていくこの季節は、特に気持ち良く体操できるとか。「朝に体を動かすと、テンポ良く一日が過ごせます」「皆と一緒になので続けられます」「元気は、早起きと体操のおかげ」「気になるウエスト周りを意識して」「時々、孫と一緒に参加しています」と、幅広い年齢層の方が輪になって集まり、毎週楽しくラジオ体操をしています。

皆さんもぜひ参加してみませんか。

問合せ 徳永恭恵 ☎(88) 1601



体を大きく動かすのがコツ